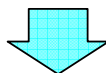


土地区画整理事業の流れ

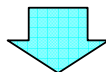
① 施行区域（地区）の決定（済）

事業を施行する地区を選定し、その地域のみなさんの意見を聞き、都市計画の決定をします。



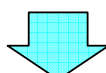
② 事業計画の決定、施行規程の制定（済）

事業の基本である設計・資金計画等について、地域のみなさんの意見を聞き、県知事による事業認可を経て決定されます。また、施行規程は区画整理を進める上で必要な事項が定められます。



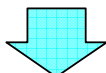
③ 減価補償金による公共施設用地の先行取得（済）

公共用地（道路・公園など）に充てるために地区内の土地を減価補償金により先行取得するものです。



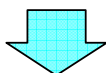
④ 審議会委員の選挙、評価員の選任（済）

審議会は、関係権利者の意見の反映のための機関として土地所有者・借地権者・学識経験者からなり、事業施行の重要な事項について審議します。また、土地・建物の評価のため、評価員を審議会の同意を得て選任します。



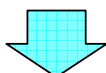
⑤ 換地設計（済）

事業計画及び個々の宅地の状況等に基づき、整理後の個々の宅地（換地といいます。）の区画を設計します。



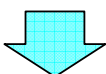
⑥ 仮換地の指定（一部済）

移転や工事に伴い、審議会の意見を聞き、換地の前提となる仮の換地を（仮換地といいます。）を指定します。



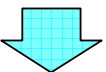
⑦ 建物等の移転、道路等の工事

仮換地が指定されると、現在地から仮換地へ建物等を移転することになります。これに並行して道路・水路・公園等の工事を行います。



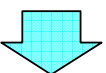
⑧ 字界・地番の変更、整理

新しい街区に従って、字界や地番の整理を行います。



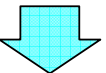
⑨ 換地処分

全ての工事が完了した後、換地計画を作成し、その内容（各筆換地明細、各筆各権利者別清算金明細など）を関係権利者に通知します。これにより換地が確定します。



⑩ 土地・建物の登記

土地・建物の変動に伴う登記を施行者がまとめて行います。



⑪ 清算金の徴収・交付その他

事業の最終段階として、皆様の換地について不均衡がある場合には、これを金銭により是正する（清算）など必要な調整を行います。